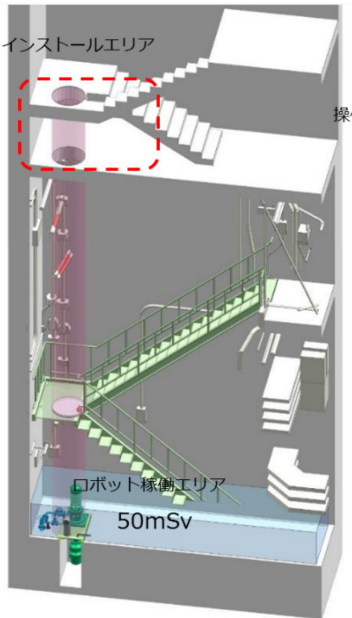


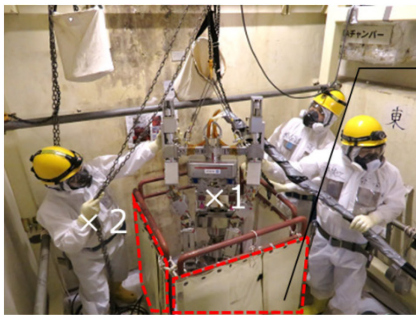
場 所		分 類		被ばく低減対策好事例集		
原子炉建屋内	R B	T B 3 5	1			時間
タービン建屋内	T B		2			距離
R ZONE	R		③			遮へい
Y ZONE	Y		4			線源の除去
G ZONE	G		⑤			遠隔、ロボット化
その他 ()	Z		6			汚染拡大防止
				7	その他	番号
内 容		1 ～ 4 号機 建屋内滞留残水排水設備設置における被ばく低減				
作業場所		3 号機タービン建屋サービスエリア				
概 略		地下階は、高線量かつ滞留水があり、人力による作業が困難であるため、遠隔工法による筋肉ロボットを採用し、作業エリアは遮蔽を実施した。				
評 価 (定性・ 定量)	価 (定量)	効 果		対策前	対策後	
			線量率 (mSv/h)	0. 40	0. 02	
			人工数 (人日)	—	—	
事例詳細		筋肉ロボットを地上階床面穿孔部からインストール時に地下階からの影響を低減するため遮へいを設置した。				

インストールエリア



操作エリア

ロボットは地上階床面穿孔部からインストール



遮蔽

x1 ~0.40mSv/h
x2 ~0.02mSv/h

地下階からの影響を低減する遮蔽を設置

インストールは低線量エリアでの対応が可能